

# 令和4年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 引野 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数、理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

#### (1) 教科に関する調査(国語、算数、理科)

教科に関する調査(国語、算数、理科)
①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

#### (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

#### (1) 全国・本市の学力調査(国語、算数、理科)の結果

本年度の結果	国語		算数		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.9	64	9.8	61	10.4	61
全国	9.2	66	10.1	63	10.8	63

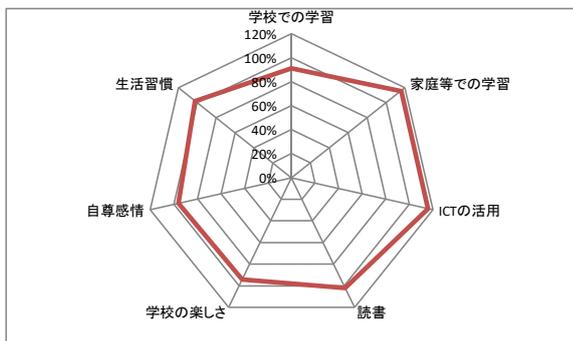
#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	全体的には全国平均を上回り、良好な成績を修めることができていた。一方で話すこと、聞くことに関する問題の正答率のみ全国平均を下回っていた。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える問題	
	努力が必要な問題	互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる問題	

算数	全体的な傾向や特徴など	全体的には全国平均を上回り、良好な成績を修めることができていた。一方で変化と関係に関する問題の正答率のみ全国平均を下回っていた。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる問題	
	努力が必要な問題	百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる問題	

理科	全体的な傾向や特徴など	全体的には全国平均を若干上回り、良好な成績を修めることができていた。一方で生命に関する問題の正答率のみ全国平均を下回っていた。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述する問題	
	努力が必要な問題	昆虫の体のつくりに関する問題	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習や塾などの習い事で学習に励む児童の割合が高かった。</li> <li>・30分～2時間以上読書をする割合は全国平均に比べ高かった。</li> <li>・授業の中でICTを活用する割合は全国平均に比べ大幅に高かった。</li> <li>・自尊感情が低い傾向にあるが、人の役に立つ人間になりたいと思う割合が高い。</li> <li>・人と違う意見について考えるのは楽しいと答えた割合が低い。</li> </ul>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

全体的にはどの教科の結果も全国平均を上回ることができている。しかし、児童質問紙の調査結果から、自分の考えをまとめて発表したり、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている児童が全国平均と比べ、低い結果となっている。本校の研究主題である「自分の考えをもち、表現する力の育成」を軸とした授業作りのより一層の推進が必要である。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

放課後はスポーツや塾などの習い事に励む児童が多く、テレビゲームをしたり携帯電話を使ったりする児童の割合は全国平均よりも低かった。毎朝朝食を食べている割合は全国平均より若干高いが、。また、家庭生活習慣については、保健だよりや学校通信を通して、引き続き家庭の協力をお願いしていく。